

たんびにき



出荷先のたんびにきて家

あおとまいこ
青戸真衣子 さん (木次町里方)

青戸さんは、幼い頃から山野草が好きで、16年前から花づくりに取り組まれています。現在、2棟のビニールハウスで、デイジーやトルコギキョウ、センニチコウ、ストック、葉ボタンなどのさまざまな花を1年を通じて栽培されています。

「温度管理や手作業による水やり、できるだけ農薬を使わない病害虫対策は大変ですが、花づくりは楽しく、長く続けたいです」と話す青戸さん。収穫期を迎えた花は、木次町の「たんびにきて家」や「木次とれたて市場（Aコープきすき店内）」、加茂町の「遊学ファーム」などの直売所へ出荷されています。



新年のご挨拶

雲南市農業委員会 会長 **加藤 一郎**
かとう いちろう



新年明けましておめでとう
 ございます。

日頃より、当委員会の活動
 に対してご理解とご協力を賜
 り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、7月の委員改選により新たな体制
 でスタートし、「担い手への農地利用の集積、集
 約化」、「荒廃農地の発生防止・解消」、「新規参入
 の促進」などに努めてきたところであります。

また、昨年の改正法の施行により、地域がめざ
 す農地利用の姿を具体化する「地域計画」の策定
 が法定化され、農業委員会としても、この計画策
 定に向け、10年後に各地域がめざす将来図である
 目標地図の素案作りを本格的に担うこととなりま
 す。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況
 が続きますが、地域農業が持続的に発展するため
 に、農業委員会の役割をしっかりと果たし、農地利
 用最適化の推進に取り組んでまいりますので、な
 お一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申
 上げます。

新しい年が皆様方にとりまして実り多き年とな
 りますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のごあ
 いさつといたします。



農地パトロールを実施して

私は、担当する掛合、多根、松笠地区を農
 地パトロールしました。パトロールを通じて
 感じたのは、手が付けられないほど荒廃農地
 が増えていることです。

数年前まで耕作されていた水田が、再生利
 用が困難と思われる農地と判断せざるを得な
 い状況となっていることに残念な思いをしま
 した。

私が担当する地域は、谷間の農地が多く、
 ほ場の面積が小さくて作業効率が非常に悪い
 ために担い手が育ちにくく、この先も荒廃農
 地は増加する一方だと感じています。

しかし、そういった状況の中でも、農地の



農地パトロールの様子 (掛合地区)

令和5年度 農地利用状況調査 (農地パトロール) 結果

町名	1号遊休 緑区分 (Aa)		1号遊休 黄区分 (Ab)		合 計	
	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)
大東町	2	1,253	0	0	2	1,253
加茂町	0	0	0	0	0	0
木次町	5	3,395	1	2,601	6	5,996
三刀屋町	0	0	0	0	0	0
吉田町	0	0	0	0	0	0
掛合町	0	0	0	0	0	0
合 計	7	4,648	1	2,601	8	7,249

1号遊休農地とは…現に耕作されておらず (1年以上にわたって耕作されておらず)、かつ引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地 (農地法第32条第1項第1号)

【緑区分】 草刈りや耕起等で直ちに可能となる農地
 【黄区分】 基盤整備事業等の整備が必要となる農地

保全のために一生懸命草刈りを行っている方
 を見掛けると何とかならないものだろうかとい
 う思いになります。

荒廃農地の要因は、高齢化と後継者不足、
 地域に担い手がいない、鳥獣被害などさまざま
 な要因があると思いますが、農業が活性化しな
 いと地域の発展もないと思います。そのために
 も何か施策を講じることが急務であると感じま
 した。
 (農業委員 岡田 稔)



農地法の許可申請書、届出書の様式は左記二次元コードまたは下記URLに掲載しています。
<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/sangyou/nougyou/nougyouikai/noutitituduki.html>



進む農業委員会のDX

(デジタルトランスフォーメーション※)

農業委員会では、今年度、無人航空機(ドローン)を利用した農地調査を試行運用しました。

ドローンを操作したのは、雲南市の職員で構成するドローンチーム「雲南ストークス」。参加した委員たちは、モニターに映し出されたドローンによる映像を見ながら農地の状況を確認しました。

また、専用タブレットを使用した農地管理のデジタル化にも取り組んでおり、デジタル技術を活用した業務の効率化も進めています。

10/26 ドローンを活用した現地調査



▲ドローンを操作する様子

※デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、デジタルトランスフォーメーションの略語で、「進化したデジタル技術を活用することで人々の生活をより良いものへと変革する」というもの。



令和5年11月6日、島根県農業委員会女性委員研修会が雲南市を会場に開催されまし

た。雲南市農業委員会からは5人が参加し、木次乳業有限会社の工場見学や有限会社奥出雲葡萄園での意見交換会を行いました。

木次乳業では、パスタチャライズ(低温殺菌)による牛乳の製造方法やその特徴を知ることができ、地元製品の良さを改めて感じる事ができました。また、県内の各地域の女性委員との交流を通じ

て、活動状況や課題となっている点などを共有することができ、とても有意義に過ごせました。

(高橋美佐子)



▲工場見学の様子



地域計画説明会

(地域計画とは・・・)

令和5年4月1日に改正農業経営基盤強化促進法が施行されたことにより、地域農業の将来のあり方や農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定することとなりました。そこで雲南市の農業振興地域においても令和7年3月末までに、地域計画の策定を完了しなければなりません。

計画の策定にあたっては、地域における農地の姿を具現化した目標地図(10年後の地域農業の設計図)も併せて作成していくこととなります。

農業委員会においても、農業従事者や地域の関係者などと共に、地域での話し合いにおける相談役として参加し、情報共有や意見交換を行いながら、目標地図の作成を支援していきます。



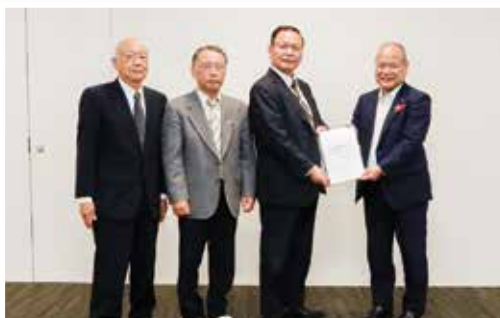
11月13日～16日にかけて開催された農業委員および農地利用最適化推進委員向けの研修会の様子

意見書を提出しました

10月27日、雲南市農業振興施策に関する「意見書」を市長に提出しました。

各委員が地域で活動する中で農業や農家を取り巻く現状や要望また、今後の農地の有効利用に向けた農業委員会活動や農業振興施策の改善に向けた意見として次の項目別に提出しました。

- 農地などの利用の最適化の推進について
- 中山間地域における農業の継続について
- 農業委員会への活動支援について



意見書提出の様子

雲南市農地情報登録制度「空き農地バンク」を活用しませんか？

市内の空き農地バンクの情報はこちら



うんなんの
うまいもん
シリーズ

農業委員会の情報委員
メンバーの「ちよっとこ
れ！たべてみーだわ！」
という商品を紹介してい
きます。

今回はこれ

今回は大東町下久野で珈琲
と手作りお菓子が楽しめる、泊
まることもできるカフェ「ippo」を
紹介します。

女性部員で取材に行ったのは令和5年
11月19日。偶然、11月23日にラストラ
ンを終えたトロッコ列車「奥山雲おろち」
がゆつくりと勇姿を見せてくれ、名残惜
しむ人たちに混じり慌ててスマホを取り
出しました。

令和4年7月にオープンした「ippo
O」は、山あいを走る列車が見えるお店
で、店主の陶山清男さん、佐知子さん夫
婦の思いが詰まった開放感のあ
るカフェです。



陶山清男さん、佐知子さん

地元の小学
校が統合して
無くなった
ことを機に、
人々が集う場
所を作ろうと
かやぶきの母
屋を解体しゲ
ストハウスを
建築されまし
た。それを発
端に、カフェ・
レンタルス

ペース・そば打ち体験・稲はで干しの農
業体験など、さまざまな取り組みを展開
されています。

新ストーブのある暖かいカフェで、地
元産の季節野菜や果物を使った佐知子さ
んお手製のスイーツと店内の素敵な装飾
とを併せて楽しみながらの取材となりま
した。

地元が好きで、人が好きで、自然農法
での野菜作りもやって
みたいと話す清男さん。

「家族で付けたippo
Oという名前のよう
に一歩ずつ、やりたい
ことを一つずつやって
いきたい。自分自身が
楽しみながら、周囲の
ひとを巻き込んで皆で
楽しい場にした！」
清男さんの言葉でお
腹も心もほっこりとな
りました。

(佐藤 博子)



営業時間：12:00～16:00
土・日曜日のみ営業
(臨時休業あり)

問い合わせ先：
Tel 080-5625-4713
もしくは公式Instagramアカウント



▲自家製野菜のキッシュ



▲カボチャのプリュレチーヌとコーヒー

編集後記

新たな年を迎えました。
昨年の猛暑と獣害はこれまでもまして厳しいものとな
り、その対策に悩まされた方も多かったと思います。
また、カラムシの発生が尋常でなく、ペットボトルで採
るのですが、網戸が黒くなるほどのカラムシに、まるで追
いかけてっことをしているようでした。カラムシが多いと雪が
多いとか。実際にそうなのかはわかりませんがよく話題に
あがります。
今年(きょうねん)は甲辰(かのえ)の年、舞い上がる龍のように諸事が良い方に
向かい、災害の無い年であることを願います。
本年も皆さんに役立つ「いなたひめ」をお届けできるよ
う取り組んでいきます。
(佐藤 博子)

国民年金の上乗せの公的な年金
「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

農業者年金 はこんな保険です

- 一定の要件を満たす方には 月額最大 1万円の保険料補助
- 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！
- 加入で大きな節税効果！
保険料は 全額社会保険料控除の対象



*① 60才～65歳未満の国民年金任意加入の方も加入できます。

詳しくは… 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>

